

# 新薬の候補物質を探索する装置の開発

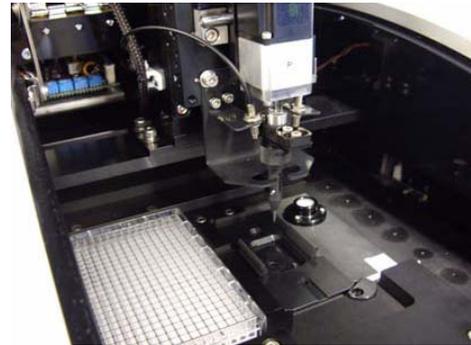
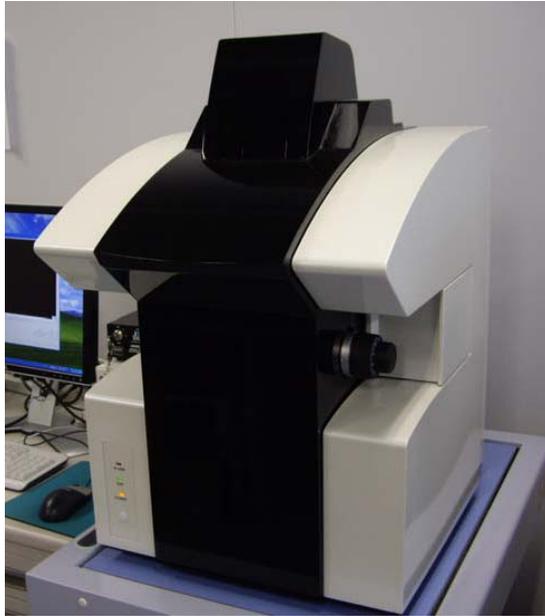
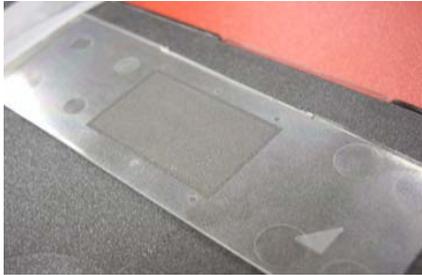
■アズワン 株式会社

■理学系研究科 教授 藤井郁雄

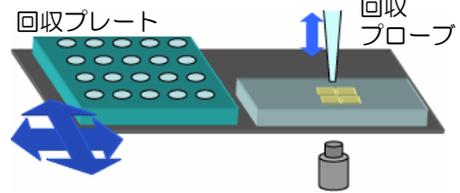
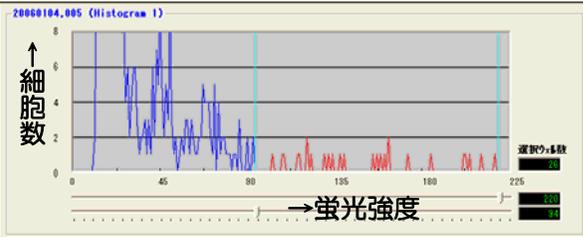
## One Cellピッキング装置

アズワン(株)、大阪府立大学、神戸大学、大阪大学との共同プロジェクトから開発

- ①25万穴の微細加工を施したマイクロウェルチャンバー上に蒔かれた細胞が発する蛍光を、高感度・高速スキャンニング
- ②各細胞の蛍光強度を解析しヒストグラムを作成。解析に適した蛍光強度の細胞を自動で回収
- ③目的の細胞をキャピラリーで回収。細胞に応じて回収条件を設定可能



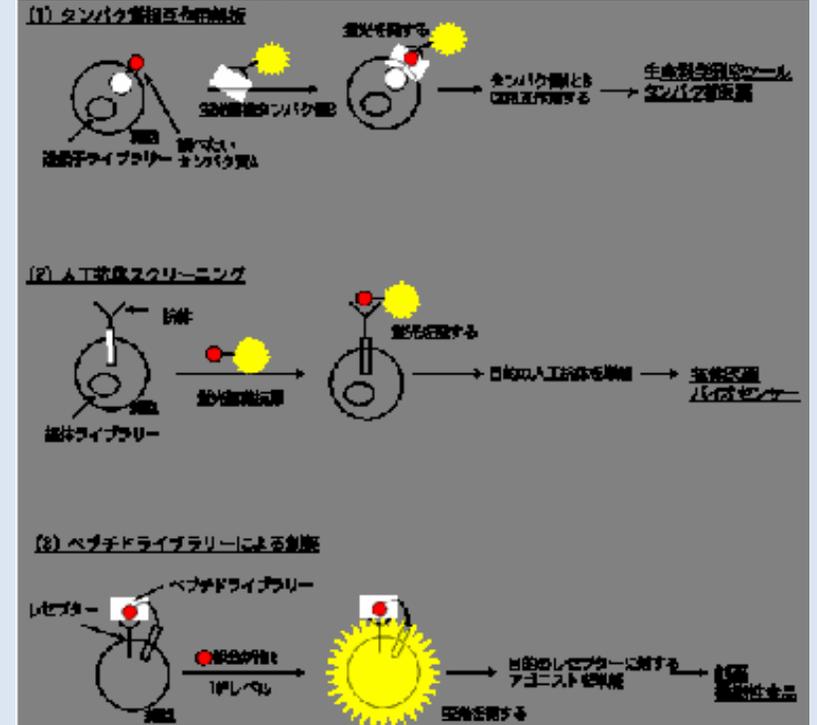
↓ histogram作成



## One Cellピッキング装置のアプリケーション ～アズワンと3大学の共同研究例より～

アズワンは、大阪府立大学（藤井郁雄 教授）、神戸大学（近藤昭彦 教授）、大阪大学（黒田俊一 准教授）との共同研究「創薬用コンビナトリアルバイオケミストリシステムの開発」を進めています。

### プロジェクトの概要



One Cellピッキング装置は共同研究から開発された装置で、短時間で目的の単一細胞を回収できることから、本共同研究での使用にとどまらず、応用範囲が広いことを特徴としています。